



病院のうごき

医療連携講演会をハイブリッドで開催



講演する副院長・整形外科部長の鈴木康司医師

6月23日、医療連携講演会が当院の新棟3階講堂で開催され、WEBでも配信されました。

最初、富満院長が「この1年間の医療連携」と題して、コロナ禍での当院の対策や紹介患者数の推移などについて報告しました。続いて「当院における大腿骨近位部骨折治療

の変遷」というタイトルで、当院の副院長、整形外科部長の鈴木康司医師が講演しました。

昨年に続きコロナ禍での開催となったためハイブリッド方式となりましたが、参加者数は、会場に97名、Web参加で38名、合計135名でした。



「21友の会」の皆さんへの出前講座

脳卒中について出前講座

6月17日、「21友の会」の皆さんへの出前講座を寺原公民館で開催しました。「21友の会」の皆さんからのご要望をお聞きしながら、今回は「脳卒中について」というテーマで脳神経内科の副島一樹医師が講演しました。

脳出血や脳梗塞の症状、要因などについて、写真やイラストを使い分かりやすく解説

し、予防のために生活習慣病の治療、禁煙・節酒することをお勧めしました。また、脳梗塞の疑いがある場合は、早期に治療するため躊躇せずに救急車を呼ぶことを強調していました。

参加者の皆さんからは高齢者の適正血圧や脳ドックを受ける頻度などについて質問が多く出されていました。



わたしの家族



ジャックラッセルテリアの女の子「マリ」です。
3月で16歳になりました。
健康管理センター
小森有紀子

予約センターの番号にご注意ください

外来予約をされる際などに、予約センターの電話番号（市内局番）を間違える方がおりますので、番号をご確認の上電話をかけていただくようお願いいたします。

予約センター 0297-72-0015

受付時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00
土曜日(第1・3のみ) 8:30～12:30

今月の表紙

褥瘡委員会のメンバーです。患者さんが安全・安楽な入院生活を送れるように、褥瘡の予防、治療に取り組んでいきます。

じょくそう

褥瘡（床ずれ）予防をチームで取り組んでいます

褥瘡委員会の活動をご紹介します



● 褥瘡委員会のメンバー

専任医師の外科医師を中心に、委員会担当師長、専任看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、栄養士、薬剤師、事務職員で構成しています。

● 褥瘡委員会の活動内容

▶ 全入院患者さんの褥瘡に関する危険因子を評価

当病院は、入院された患者さん全員に「褥瘡に関する危険因子評価」を実施しています。その結果、介入が必要と判断した患者さんについて、専任医師・専任看護師が褥瘡予防対策・褥瘡治療・褥瘡ケア計画を行っています。

▶ 定例委員会で褥瘡対策の問題点を検討

月1回、定例委員会を行っています。ここでは褥瘡の発生状況を把握します。また各患者さんの経過や有効なマットレスの選択、治療や処置内容などの管理方法、褥瘡対策全般に関する問題点などについて多職種で検討しています。

▶ 褥瘡委員会の委員が全褥瘡患者さんを回診

週1回、褥瘡患者さん全員を褥瘡委員会のメンバーである医師・師長、専任看護師・皮膚・排泄ケア認定看護師などで回診を行っています。褥瘡の状態や大きさの評価はもちろんですが、褥瘡の危険因子を評価し、体圧を分散する寝具の使用状況、体位変換・ポジショニングなどのケア方法、スキンケアや栄養状態などを病棟スタッフと共に確認し、褥瘡を早期に治せるように関わっています。

▶ 院内勉強会でスタッフを教育

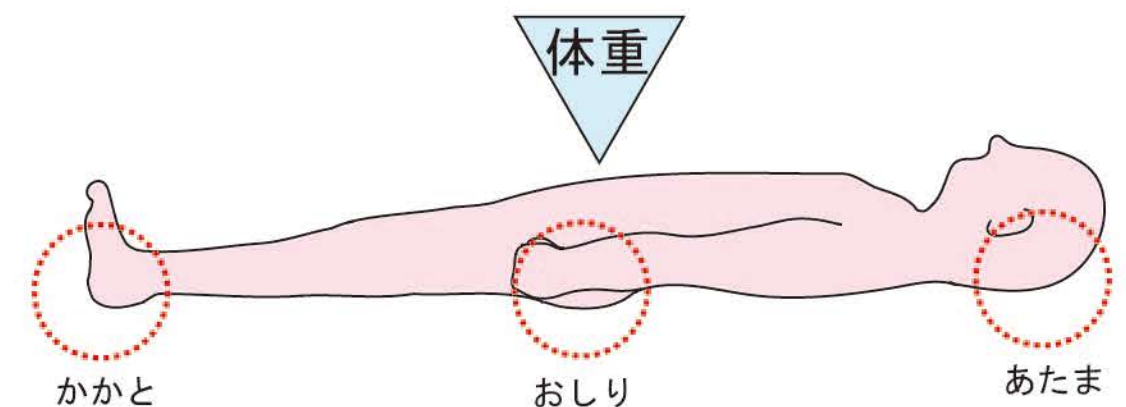
年に2回院内勉強会を計画的に開催し、スタッフの褥瘡に関する知識・技術の向上を図っています。

● 褥瘡とは

▶ 一般的には床ずれと呼ばれ、皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫が加わることにより、血流が悪くなり壊死（えし：身体の組織や細胞が局部的に死ぬこと）を引き起こすものです。

特に骨が突出している部位に生じやすく、寝たきりの方、便や尿失禁があり皮膚が湿っている方、皮膚の弱い方、その他のさまざまな要因が絡み合うことで褥瘡（じょくそう）ができると言われています。

褥瘡が発生しやすい部分（好発部位）



電子カルテを見ながら多職種で患者さんの全身状態を確認しています



病棟スタッフと一緒に褥瘡の評価や処置を行っています

おいしい治療食のレシピ

JAとりで総合医療センター 栄養部

糖尿病食



ピーマン肉詰め焼



高野豆腐の炊き合わせ



和風サラダ

材料 1人分

ピーマン肉詰め焼

- ・ピーマン 45g(1個半)
- ・鶏ひき肉 45g
- ・玉ねぎ 20g(1/6個)
- ・サラダ油 3g(フライパンに薄く敷く程度)
- ・溶き卵 5g(少々)
- ・パン粉 6g(大さじ2杯)
- ・塩 0.5g(ひとつまみ)
- ・コショウ 0.02g(少々)
- ・ミックスベジタブル 30g
- ・ウスターソース 6g(小さじ1杯)

和風サラダ

- ・玉ねぎ 60g(2/3個)
- ・貝割れ大根 5g(少々)
- ・かつお節 0.5g(少々)
- ・マヨネーズ 4g(小さじ1杯)
- ・しょうゆ 3g(小さじ1/2杯)

高野豆腐の炊き合わせ

- ・高野豆腐 8g(1/2枚)
- ・にんじん 20g(一口大2切れ)
- ・生シイタケ 20g(中1個)
- ・砂糖 3g(小さじ1杯)
- ・しょうゆ 6g(小さじ1杯)
- ・だし汁 適量(鍋の大きさに合わせて)

作り方

ピーマン肉詰め焼

- ① 玉ねぎはみじん切りにし、フライパンに薄くサラダ油を敷いてしんなりするまで炒めておく。
- ② ピーマンはよく洗って縦半分に切る。種の部分を取り除く。
- ③ ボールに鶏ひき肉、溶き卵、パン粉、塩、コショウを入れ良く捏ねる。①の玉ねぎも加えてよく捏ねる。
- ④ ②のピーマンに③の肉を詰める。この時ピーマンの内側に片栗粉(分量外)を軽くまぶしておくとき焼いたときにはがれにくい。
- ⑤ フライパンに薄く油を敷き、肉を詰めたピーマンを並べて蓋をし、弱火でじっくり焼く。(10分程度)
- ⑥ 別鍋でボイルしておいたミックスベジタブルを添え、皿に盛る。お好みでウスターソースなどをかける。

和風サラダ

- ① 貝割れ大根は根の部分を取り落とし、よく洗って2〜3等分に切っておく。
- ② 玉ねぎは薄くスライスする。
- ③ ボールに貝割れ大根、薄切りした玉ねぎを入れ、かつお節を加えて軽く混ぜる。
- ④ 別皿にマヨネーズとしょうゆを混ぜ、③の野菜を加えてよく混ぜる。
- ⑤ 器に盛る。

高野豆腐の炊き合わせ

- ① 高野豆腐、にんじん、生シイタケは一口大に切っておく。
- ② 鍋にだし汁、砂糖、しょうゆと①の野菜を入れ軽く煮立たせ、高野豆腐も加えて野菜が軟らかくなるまで煮る。
- ③ 器に盛る。

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	食塩 (g)
ご飯150g	243	4.3	0.6	55.1	0
ピーマン肉詰め焼	196	10.7	12.5	13.0	1.1
和風サラダ	52	1.4	3.1	5.4	0.5
高野豆腐の炊き合わせ	67	5.2	2.7	6.5	1.0
合計	558	21.6	18.9	80.0	2.6

とりで
の
元 気

「布絵本の会いないいないばあ」
ひと針、ひと針、心をこめて



森尾糸店キット



製作された布絵本



取手市図書館内で布絵本を製作されている皆さん

布の絵本をご覧になったことがありますか。
布絵本は、最初は障害を抱えている子供さんや、乳幼児の発育を支援する絵本として作られたそうです。すずらん文庫主宰の渡辺順子さんが布絵本の良さを積極的に発信されており、平成19年11月に取手で開催された講演会の中で布絵本を紹介していただきました。同じ年にふじしろ図書館内で布絵本を製作するボランティアの会がスタートし、その後「布絵本の会いないいないばあ」が設立されて、現在、ふじしろ図書館の方で13名、取手図書館の方で17名の皆さんが活動されています。取手の方の皆さんは、月に2回、取手図書館の2階の会議室で布絵本を製作しています。製作された布絵本は、取手市内の図書館に納められて貸し出しも行っています。他に、市内の幼児施設にも布絵本を寄贈されていて、今後は老人施設にも贈る予定だそうです。

布絵本は、フェルトやボタン、ファスナーなどを使用して製作されており、ボタンをはめた

り輪に紐を通すなど、毎日の基本操作を楽しみながら身に付けるものや、三角形のフェルトのピースを四角の枠にはめ込むパズル形式のものなどがあり、紙製の絵本とは違った楽しさがあります。ひと針、ひと針、心をこめて手作りされ、様々な仕掛けの中に遊具性と教具性を兼ね備えた0歳児から利用可能な絵本です。

代表の石川孝子さんは、「大量消費、大量廃棄などが問題視されていますが、布絵本の材料にはボタンや布等リサイクル品も使っています。紙の絵本にはない優しい肌触りがあり、ぬくもりが感じられます。少々乱暴に扱っても破れませんし、もし破れても補修ができます。布絵本を作っている皆さんにとっては、子供達を育成する活動のひとつとなり、製作する人達の間がひろがり「社会参加」の喜びを味わえます。裁縫好きな人の集まりですが、時間が無い時や苦手な所などは皆さんで協力しカバーし合って楽しく作っています」と話されました。

臨床工学技士の役割

No.5

血液浄化部門 臨床工学部 小川 大輔

今回は血液浄化療法の業務についてご紹介します。腎センターには、現在、透析可能なベッドが外来患者さん用に48床、入院患者さん用に13床、計61床あります。

当院の臨床工学部には19名の臨床工学技士が所属していますが、その内血液浄化業務を5、6名で担当しています。主な業務としては血液透析を行うための準備（プライミング）、透析開始時にシャント等のバスキュラーアクセスと呼ばれる腕の血管に透析用の針を刺す行為（穿刺）、体外で循環させ浄化した血液を終了時に体内に戻す行為（返血）、それと透析が安全に行われているかを確認する業務です。その他に透析に使用する機材の管理や装置の定期点検、故障した際の修理を行っています。



透析装置の内部の定期点検を行っています

血液透析の安全性を確保するために

特殊な血液浄化装置の準備・運転も担当

通常の血液透析は4、5時間で行うことが多いですが、24時間以上かけてゆっくりと行われる持続緩徐式血液濾過透析（注1）や、血液中に含まれている血漿の成分を交換し治療する血漿交換療法（注2）等の特殊血液浄化の準備や装置の運転も行います。

また病棟の個室などで血液透析を行う「出張透析」（透析患者さんが新型コロナウイルスに感染した場合など）の際も装置のセッティングや運転などを担当しています。

（注1）持続緩徐式血液濾過透析

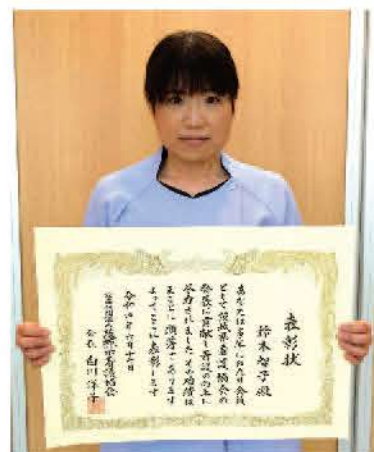
拡散と濾過の原理により血液を24時間以上かけて浄化する治療法で、血圧低下などの影響が軽減できるとされています。急性腎不全や肺血症などの治療法として行われます。

（注2）血漿交換療法

患者さんの血液をろ過膜を通し、分離した血漿を廃棄しながら新鮮な血漿成分を補充します。肝疾患や重症筋無力症などの治療法として行われます。

病院のうごき

茨城県看護協会白川会長から表彰状



表彰された鈴木看護師長

外来の鈴木智子看護師長が、茨城県看護協会から表彰されました。長年にわたり看護協会の発展に貢献し看護の向上に尽力したと評価され、6月17日に行われた茨城県看護協会通常総会において白川会長から優良看護職員として表彰状が授与されました。

鈴木師長は「今回の受賞を大変光栄に思っています。そして、今まで未熟な私を支えていただいた方々に心から感謝しています。少子高齢化やCOVID19の影響により、看護のあり方は大きく変わりつつあります。“誰かの役に立ちたい”と看護師を目指した初心を忘れずに、これからも目の前の課題に真摯に取り組んでいこうと思います」と話していました。

連携医のご紹介

医療法人社団 竹村 医院

院長 竹村 尚志

診療科目	内科・呼吸器科・アレルギー科 眼科・消化器科(胃腸科)・循環器科
診療時間	午前：月・火・水・金・土 9時～11時45分 午後：月・火・水・金 15時～17時45分 午後：土 15時～16時45分
休診日	木曜日・日曜日・祝日
連絡先	TEL 0297-72-0002 〒302-0005 取手市東1-2-12



当院は、広く内科一般の診療を行っており、精密検査、専門医による診断・治療が必要と思われる方は、JAとりで総合医療センターに紹介させて頂いております。眼科においても、手術依頼、術後の経過観察等で病診連携させて頂いております。

当院では、呼吸器・アレルギー疾患の診療にも力を注いでおりますので、喘息の方はもとより、咳や

息切れ等が気になる、スギ花粉症の舌下免疫療法に関心がある、等といった方も遠慮なくご相談下さい。また、女性医師を希望する方の為に、月、水、金曜日の午前中は女性医師が診療を担当しております。

今後も、これらの特徴を生かしつつ、かかりつけ医としての役割を果たしていければ、と思っております。

わたしたちの部署をご紹介します

説明センター

検査説明

内科外来を受診された患者さんが検査を受ける場合には「説明センター」でその内容などを説明しています。以前は周囲に他の患者さんがいらっしゃる中待合で行っていましたが、プライバシー保護の観点から2年程前に説明センターで行うよう変更しました。コロナ禍でもあったため、中待合の密の防止にもなりました。

内科外来の医師事務作業補助者が交代で担当し、午前中だけで40～50人の患者さんにご説明しています。大腸の内視鏡検査のように、下剤服用など事前の準備が必要な検査の説明は時間がかかるため、次の順番をお待ちの患者さんは待ち時間が長くなってしまう場合もあります。対象患者さんが多い時には説明スタッフを増やして対応していますのでご理解とご協力をお願いします。

入院説明

入院が決まった患者さんに対して、安心して入院治療を受けて頂けるように入院の準備などについて説明しています。患者さんの生活状況（身体面・社会面・精神面）や、医師からの説明に対するご質問なども確認いたします。入院案内のパンフレットを

見て頂きながら、入院・手術に際し準備して頂きたい物品やレンタルサービスのご案内、入院当日の受付窓口や受付手順、さらに入院生活でご協力頂きたい点などもご説明します。

一人の患者さんに対して30分～40分程度かかります。このため所要時間をご了解いただける患者さんが対象となりますが、説明を受けた患者さんやご家族からは「説明してもらえると安心です」といったお声を頂いています。



入院について説明している様子